

【目黒区水害ハザードマップ】



水害ハザードマップの目的

この水害ハザードマップは、大雨による河川の氾濫（外水氾濫）と下水道からの流水による浸水（内水氾濫）を合わせて表示した、「城南地区河川流域浸水予想区域図（平成30年12月東京都作成）」に基づき、浸水する区域やその程度、避難所を示し、区民の皆さんの避難などに役立つように作成した地図になります。

「想定し得る最大規模の降雨」（総雨量690ミリメートル、時間最大雨量153ミリメートル）があった場合に、シミュレーションにより予測される浸水状況を基に作成しています。

浸水の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川・下水道の整備状況、建物の構造など様々な状況によって変わることもあります。したがって、大雨が降ると必ずこの地図が示す区域に浸水があるということではありません。また、浸水の表示が無い区域でも、状況によっては浸水することもありますので、十分にご注意ください。

（注記）「ハザード」とは「危険・危険性」という意味です。

浸水深の目安

5.0m以上	2階の軒下までつかる程度
3.0~5.0m	2階の床下までつかる程度
2.0~3.0m	1階の軒下までつかる程度
1.0~2.0m	大人の腰までつかる程度、自動車の通行は不可能、歩行も困難
0.5~1.0m	大人の膝までつかる程度
0.1~0.5m	

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク区分）	地域避難所（水害時）
5.0m以上	隣接区の避難所（区境から500m以内）
3.0~5.0m	広域避難場所
2.0~3.0m	土のう設置場所
1.0~2.0m	区役所
0.5~1.0m	消防署・消防出張所
0.1~0.5m	警察署・交番等
土砂災害警戒区域等	防災行政無線
土砂災害警戒区域	水位観測所
土砂災害特別警戒区域	
河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域	
家屋倒壊等氾濫想定区域 ※家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流が発生することが想定される区域	目黒区地域防災計画に定められた目黒川洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域および高潮浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設